

科目名 (英)	1年生コンテスト	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井香菜子 及川美波 吉田映梨子 阿部和彦
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年次の学びを活かし、創造的な作品を発表する							
【授業を通じての到達目標】							
ウィッグを対象に、コンセプトどおりの作品を表現する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 コンセプト作成及び仕込み						
2							
3							
4							
5							
6	【到達目標】 テーマを基に、イメージを膨らませコンセプトシートに落とし込む コンセプトをもとに、必要な材料をそろえる						
7							
8							
9	【授業単元】 コンセプト発表						
10							
11							
12							
13	【到達目標】 コンセプトシートを基に、ウィッグにヘアメイクを施す 制限時間内で仕上げ、プレゼンテーションを行う						
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	Basic Hairmake Design I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大井/木本/中村/髭田/古里
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 木・金
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>プロフェッショナルの技術を身に付ける為の技術を習得し、応用力を引き上げる。 プライダル、サロン、スチール撮影、舞台など、実際に現場で働く講師より現在のトレンドを学びながら、基礎の土台を固める。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>教材を駆使し、クオリティーの高いスタイルを作れるようになる。</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘア教材一式							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	ホットカーラーの特性と巻き方(ウィッグ)						
2	ホットカーラーを用いてスタイル作り(ウィッグ)						
3	逆毛の特性、理論、スタイル作り(ウィッグ)						
4	すき毛の特性、スタイル作り(ウィッグ)					小テスト10点	
5	すき毛有り、合わせスタイル(ウィッグ)						
6	本夜会(ウィッグ)						
7	テスト(ウィッグ)					中間テスト20点	
8	カールアップ①(ウィッグ)						
9	カールアップ②(ウィッグ)						
10	カールアップ③(ウィッグ)						
11	バリエーションスタイル①(ウィッグ)						
12	バリエーションスタイル②(ウィッグ)					小テスト10点	
13	バリエーションスタイル③(ウィッグ)						
14	総復習とテスト練習(ウィッグ)						
15	定期テスト(ウィッグ)					定期テスト60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	Basic Hairmake Design II		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	堤 里海
学科・コース	ヘアメイク科		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
							曜日・時間	水曜1.2.3.4限、木曜1.2.3.4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)								
メイクの基礎知識や様々なジャンルの技術を知り、現場や作品作りの応用力を身につける。								
【授業を通じての到達目標】								
メイクの基礎知識やジャンル別のメイク技術を身につける事により、様々な現場やコンテストに備える。								
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】				
メイクボックス一式								
回	授 業 概 要						テ ス ト 配 点	
1	クレンジング・スキンケアについて、骨格補正について							
2	色彩メイク(補色)							
3	色彩メイク(彩度)						5	
4	質感メイク "GLOW" ～ウェット～							
5	質感メイク "GLOW" ～パール～							
6	質感メイク "MATT" ～ヌーディー～						5	
7	中間テスト:質感別フルメイク						20	
8	フェイスチャート							
9	ウィッグメイク(ウィッグコンテストへむけて)							
10	テスト別メイク①～つけまつげ～							
11	テスト別メイク②～RED～						5	
12	テスト別メイク③～SMOKY～							
13	和装メイク～水化粧～							
14	ウィッグコンテストへ向けて						5	
15	定期テスト:模写フルメイク						60	
【特記事項】				【評価について】				
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				

科目名 (英)	Basic Hairmake Design III	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井布弥
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
実際に現場で働く現役のヘアメイクから、前期で学んだ基礎をより自分の技術としておとしこみ、ヘアとメイクを円滑に同時におこなう時間の管理、工夫を学ぶ。							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアとメイクを60分で仕上げる事ができる、そして1年生のまとめでもあり、初のコンテスト。ウィッグコンテストに向けて、基礎技術クオリティーの向上。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授業概要					テスト配点	
1	Hair&Make(ナチュラル)						
2	Hair&Make(ナチュラル)						
3	Hair&Make(エレガント)						
4	Hair&Make(エレガント)						
5	Hair&Make(似合わせ)→ナチュラルorエレガント						
6	中間テスト予行練習						
7	中間テスト					20	
8	Hair&Make(クール)						
9	Hair&Make(クール)						
10	Hair&Make(キュート)						
11	Hair&Make(キュート)						
12	ウィッグコンテストヘア一人頭&Make					10	
13	ウィッグコンテストヘア一人頭&Make					10	
14	定期テスト予行練習						
15	定期テスト					60	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	オリエンテーション・導入教育Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井香菜子 及川美波 吉田映梨子 阿部和彦
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学年全体と後期学習イメージをつけることができる							
【授業を通じての到達目標】							
後期のスケジュールが理解できる 授業概要が理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント配布							
回	授業概要						テスト配点
1							
2							
3							【授業単元】 スケジュール・ルール確認・職員紹介・講師紹介
4							
5							
6							【到達目標】 後期のスケジュール管理ができるようになる 学則・内規等のルールを理解し、遵守の意識を持つ 学科職員や学校組織の構成を知る
7							学校の校舎や教室の使い方を理解する
8							
9							
10							【授業単元】 後期時間割・授業概要理解 就職活動について 教材理解 教科書理解
11							
12							
13							【到達目標】 後期の授業概要を理解し、これからの学びのイメージをもつ 就職活動についての具体的ななじぶんのスケジュールを立てることができる 自身が今後使用するヘアやメイクの教材について把握し、使用方法が理解できる
14							奨学金制度などの奨学金サポート制度についても概要が理解できるようになる
15							
【特記事項】				【評価について】 出席評価とする			

科目名 (英)	きもの着付け演習(初傳)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中澤・岡野・和田
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
長きに渡り、着物着付け師・着物講師指導にあたり、自らも和装ブライダルの花婿・花嫁の着付けを手掛ける教員が冠婚葬祭の基礎知識をわかりやすく解説し、現代のニーズに応えられる上質の和装着付けを実施する。 基礎の浴衣から小紋の着付けまでを一人で着る自装を器具等を使用せず、どのような現場でも通用する技術を提供する。							
【授業を通じての到達目標】							
一人で着る着付けが出来る→小紋の着付けと名古屋帯の一重太鼓の帯結びができるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
一般財団法人国際美容協会のきもの着付け教本							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	着付け前の着物の準備の仕方を覚える(小紋の着付け)						
2							
3							
4	帯結び名古屋帯の準備の仕方から一重太鼓の結び方					中間テスト 20	
5							
6						小テスト 20	
7	帯あげ帯締めまで鏡を見ないでできるようになる					定期テスト 60	
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	デッサン演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	堤・久保
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
デッサンやトレンドヘアなど、普段の学びを総合的に捉える							
【授業を通じての到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・デッサンで静物画がかけられるようになる ・トレンドのヘアスタイルが理解できる 							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授業概要					テスト配点	
1	【授業単元】 デッサン基礎						
2	【到達目標】 ・静物画を記入するための観察力を身につける						
3	・鉛筆と消しゴムの使い方を理解する						
4	・構図の種類を理解する						
5	・明暗と彩度・立体構図を理解する					20	
6	【授業単元】 デッサン応用						
7	【到達目標】 ・空間の構成						
8	・遠近法について						
9	・静物画の完成					20	
10	【授業単元】 トレンドヘアの歴史と現在						
11	【到達目標】 ・時代ごとに変遷してきたトレンドヘアについての学びを深める						
12	・現代のトレンドヘアについて、雑誌等を通して学ぶ						
13	・トレンドヘアについて、調べ学習を行う						
14	・デッサンの学びを基に、トレンドヘアをコンセプトシートに落とし込む						
15	・トレンドヘアの1つを相モデルで実践してみる					60	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	ファッション講座	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	若井 りさ
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイクに必要なファッションやトレンドを理解する。 ※美術学科卒業後、広告宣伝業務に携わる。その中でファッションコーディネーターについての業務も実施。							
【授業を通じての到達目標】							
基本知識を活用し、トレンドを取り入れたコーディネートができるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】授業概要理解 【到達目標】ネクタイの結び方(2種)を体得する。授業概要を理解する。						
2	【授業単元】自分に似合う色と柄を知る①(テキスタイル表) 【到達目標】布見本を用いて、自分に合う物を考察する。						
3	【授業単元】自分に似合う色と柄を知る② 【到達目標】布見本を用いて、自分に合う物を考察する。						
4	【授業単元】中間テスト 帽子の正しいかぶり方 【到達目標】帽子の種類(由来やかぶり方)を理解する。						20
5	【授業単元】クローゼットに眠っている物を活用する方法 【到達目標】シルエットを考察し、着方を発見する。						
6	【授業単元】小テスト 新しい考え方のポイントを知る 【到達目標】ストリートファッションとは。ユニバーサルデザインとは。新素材や形の扱い方を理解する。						20
7	【授業単元】黒い服と白い服① 【到達目標】バランスをとる方法を理解する。						
8	【授業単元】定期テスト 【到達目標】4種のトレンドマップを提出する。						60
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	Blow styling II	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	鎌田優子 湯田美奈恵
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	通年
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師および美容学校で長く実務経験のある教員が担当 自分たちの持つイメージを伝えられるようなスタイリング・表現で、イメージ写真を具現化していくことを体得していく 自分の技術をアピールする力を身につけることができる							
【授業を通じての到達目標】							
アイロン技術・ブロー技術・スタイリング技術の習得 作品撮りの基礎手順・技術を身につける							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
C 003ウィッグ(ピンク台座)/クランプ/ドライヤー/カールアイロン/ストレートアイロン/デンマンブラシ/シザーケース/リングコーム/ダックカール/ピンクタオル2枚/延長コード/雑巾/エプロン/筆記用具/名札/油性マジック							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】ハンドドライ、カールアイロン技術の体得(平巻き・縦巻き・巻きつけ) 【到達目標】基本的なアイロン技術を知ることができる						
2	【授業単元】ハンドドライ、カールアイロン技術の体得(平巻き・縦巻き・巻きつけの復讐)(スパイラル巻き・毛先逃がし巻き・ストレートアイロン) 【到達目標】基本的なアイロン技術を習得することができる						
3	【授業単元】ハンドドライ、カールアイロン技術、ストレートアイロン技術の体得 【到達目標】自由自在にアイロンさばきができる						
4	【授業単元】中間テスト Pウィッグのカット、デンマンブラシによるワンレングスのブローの体得、シルエットの理解 【到達目標】ブラシの使い方を理解することができる						20
5	【授業単元】デンマンブラシによるワンレングスのブローの体得、ストレートアイロンによる波ウェーブ 【到達目標】デンマンブラシを使ってブローができる						
6	【授業単元】小テスト デンマン&ロールブラシによるワンレングスのブローの体得、ストレートアイロンによる波ウェーブ 【到達目標】ワンレングスをブローし、ブラシの違いを理解することができる						20
7	【授業単元】ロールブラシによるワンレングスのブロー、カールアイロンによる波ウェーブ 【到達目標】ロールブラシを使ってブローができる						
8	【授業単元】定期テスト スタイルの制作 【到達目標】ブロー、アイロン技術を取り入れ、スタイルを完成することができる						60
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅱ (professional seminarⅡ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井香菜子 及川美波 吉田映梨子 阿部和彦
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 水3限 木2限・3限 金2限・3限
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイクの業種・分野を理解し、自身の将来像を明確にすることができる 就職活動における基礎を作り、スムーズに実践できるようになる 主たる講師:美容室で美容師として従事後、本校に入職。美容師科通信課程担当・ヘアメイク科担任を勤める(今井)							
【授業を通じての到達目標】							
自己分析することができ、就職活動における基本的な履歴書作成ができるようになる 志望する業種・分野をしぼることができ、インターンや現場実習に積極的に参加することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時で配布				授業によって自宅課題あり			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	【授業単元】後期の目標設定を行い共有することで、自己変革期に向けスタートをきる 【到達目標】前期を振り返り、後期の目標設定ができる クラスメイトを知り、コミュニケーションをとることができる						
2	【授業単元】業界理解を深める① 【到達目標】目指すヘアメイクについて学び、職種ごとの業界内容、技術内容を理解することが出来る					5点	
3	【授業単元】業界理解を深める② 【到達目標】目指すヘアメイクについて学び、職種ごとの業界内容、技術内容を理解することが出来る					5点	
4	【授業単元】履歴書の書き方【学歴・職歴・賞罰・資格】を知る 【到達目標】就職活動で履歴書を作成できるように基本的な記入の仕方が理解できる					5点	
5	【授業単元】基本的な文章が作成できる 【到達目標】文章作成の基礎を身に付けることができる 「伝える力」の重要性を理解する						
6	【授業単元】自己評価と他者評価で自己認知を発見する 【到達目標】自分の価値観や、長所・短所を把握し、前向きに自らの在り方を評価することができる My情報の収集をし、自己認知することができる						
7	【授業単元】中間テスト 発見した自己認知を整理して採用試験用に精査する 【到達目標】My情報の整理をし、文章にすることができる 中間テストを通じて、履歴書作成の基本を理解することができる					20点	
8	【授業単元】PR文章の作成方法を身に付ける 【到達目標】自己PRの目的、「伝える」PRを整理し、自己肯定感を高めることができる						
9	【授業単元】履歴書に記入する自己PRを3パターン作成できる 【到達目標】職種や分野によってアピールポイントの違いを理解し、自分の強みを伝えることができる						
10	【授業単元】志望動機の書き方を身に付ける 【到達目標】志望動機の収集をすることができる 志望動機の目的、構成、「伝える」志望動機の書き方を理解することができる						
11	【授業単元】コンテストの目的や流れ、必要性を学ぶ 【到達目標】コンテストのテーマや目的、流れを理解できる 自己表現力や発信力の大切さを理解することができる						
12	【授業単元】コンテストの準備ができる 【到達目標】コンテストテーマや創作したい作品をイメージし、ウィッグにカラーリングをすることができる						
13	【授業単元】冬休み中の過ごし方を考える 【到達目標】学校のルールや冬休みの行動について再確認し、楽しく過ごせる計画を立てることができる 。冬休み課題(志望動機の作成など)を作成することができる						
14	【授業単元】冬休み課題の振り返り 就職活動の流れを知る① 【到達目標】冬休みの課題を振り返り、自分の進みたい職種を理解することができる 就職活動の流れを知り、就職に向けて準備をすることができる					5点	
15	【授業単元】定期試験 就職活動の流れを知る② 教務部長挨拶 【到達目標】志望するヘアメイク業種・分野を絞ることができる 定期試験を通じて、1年間を振り返り、自身の成長を認めることができる					60点	
【特記事項】					【評価について】		
					●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点		
					●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)		
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。		

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術 I (BR)	必修 選択	選択必須	年次	1	担当教員	木本ルミ子
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>実際にブライダルの現場で施術を行っている講師より現在のトレンドや現場での立ち振る舞いなどを体験談を交えながら伝えることにより学生がブライダルヘアメイクという職業をイメージしながらヘア・メイク・ドレスフィッティングを学ぶことが出来る。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>ブライダルヘアメイクという仕事、役割を理解したうえで必要な基本的な技術を習得しスタイリング出来るようになる。 また衣装や小物についての知識を学びドレスフィッティングができるようになる。</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	座学 :「ブライダルヘアメイクの仕事内容・役割とは」/ 実習:「ドレス・小物について」						
2	トレンドブライズヘア :ゆるふわヘアとフラワー・ビジュヘッドアクセサリー					小テスト 5点	
3	トレンドブライズメイク :ツヤ肌ふんわり愛されメイク						
4	王道ブライズヘア :面系キレイめヘアとティアラ・ボンネヘッドアクセサリー						
5	王道ブライズメイク :セミマット エレガント大人メイク					小テスト 5点	
6	ドレスフィッティング・アテンド :ドレスの種類、着せ方・小物の合わせ方						
7	セルフ撮影後半 :ヘアメイク・ドレス・小物をコーディネートして花嫁を作り上げ撮影する(施術orモデル)						
8	セルフ撮影前半 :ヘアメイク・ドレス・小物をコーディネートして花嫁を作り上げ撮影する(施術orモデル)					中間テスト 20点	
9	披露宴スタイル ヘア :カラードレスに合わせてハーフアップ、編み下ろし系ヘアアレンジ						
10	披露宴スタイル メイク :ドレスとヘアに合わせたブライズメイク						
11	和装ヘア :今どきの和装ヘアと和飾り					小テスト 5点	
12	和装メイク :今どきの和メイク、洋装との違い						
13	ドレス似合わせヘアアレンジ :ドレスのイメージに合わせたヘアアレンジ					小テスト 5点	
14	ドレス似合わせメイク :前回のドレスとヘアアレンジに合ったメイク						
15	定期テスト :課題を時間内で施術する					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	業界研究Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井香菜子 及川美波 吉田映梨子 阿部和彦
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現場のヘアメイクの方からやりがいやトレンド、仕事の内容を伺い、将来の仕事のイメージをつける							
【授業を通じての到達目標】							
自身が将来進みたい分野の仕事のイメージつけることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時に配布				授業によって自宅課題あり			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(事務所)						
2	【到達目標】 事務所で働くヘアメイクのイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、学んだことを言語化して振り返ることができる						
3	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(スチール・広告)						10
4	【到達目標】 スチールや広告等静止画で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、言語化して振り返ることができる						
5	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(映像系)						
6	【到達目標】 映画・ドラマ・CMなどの映像系で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事内容などを言語化して振り返ることができる						
7	【授業単元】中間テスト ヘアメイク業種・仕事内容・分野・働き方の振り返り						20
8	【到達目標】 今まで学んだ内容を振り返り、やりがいなどをプレゼンテーションすることができる						
9	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(ブライダル)						
10	【到達目標】 ブライダルヘアメイクで働くことのイメージをつけることができる 仕事の内容などを振り返り、言語化することができる						
11	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(フォトスタジオ)						10
12	【到達目標】 スチール現場実習時のカメラ前アシスタントの動きや流れを理解出来る フォトスタジオで働くヘアメイクの仕事を理解する 仕事を振り返り、言語化することができる						
13	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(サロン)						
14	【到達目標】 美容サロンで働くヘアメイクの仕事イメージすることができる 仕事を振り返り、言語化することができる						
15	【授業単元】定期試験 振り返り						60
	【到達目標】ヘアメイクの仕事をつとめる視点で判断し、自分にあった職種をイメージすることができる						
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	相互支援演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井香菜子 及川美波 吉田映梨子 阿部和彦
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
クラスの相互支援関係を構築する							
【授業を通じての到達目標】							
クラス替えをしたクラスメイトを理解することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授業概要						テスト配点
1	【授業単元】 相互理解プログラム						
2	【到達目標】 ・新たなクラスメイトの顔と名前を覚える ・コミュニケーションゲームを通して相互理解を深める ・自己紹介を通して自己開示を進める						
3							
4							
5	【授業単元】 サービスマインドを学ぶ						
6	【到達目標】 ・外部研修において、サービスマインドを学ぶ ・異質なものを認めることができる ・テーマパーク内にて、グループで相互理解を進めることができる						
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<p>●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施</p> <p>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名 (英)	特殊メイク演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	堤
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>普段、撮影や収録現場で制作会社や編集からのリクエストをもとに授業内容を構成し、それに沿ったヘアメイクの表現方法の幅を学ぶ。 その中でも、特殊メイクに特化した授業を行う。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
血のり等を利用し、特殊メイクを仕上げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	【授業単元】特殊メイク基礎Ⅰ 【到達目標】キズ、アザの基本・色・位置等を学ぶ。古傷の作成。						
2	【授業単元】特殊メイク基礎Ⅱ 【到達目標】古傷の作成(完成まで)。火傷等の基本・色・位置等を学ぶ。						
3	【授業単元】特殊メイク基礎Ⅲ 【到達目標】パテ等を利用した立体的な傷を学ぶ。						
4	【授業単元】中間テスト ドラマ・映画ヘアメイクⅠ 【到達目標】映画やドラマなど収録現場でのヘアメイク学習の基礎を学ぶ。					20	
5	【授業単元】ドラマ・映画ヘアメイクⅡ 【到達目標】映画やドラマなど収録現場でのヘアメイク学習の応用を学ぶ。						
6	【授業単元】小テスト イベントヘアメイクⅠ 【到達目標】イベントなど比較的大きなステージで行われるヘアメイクの基礎学習。					20	
7	【授業単元】イベントヘアメイクⅡ 【到達目標】イベントなど比較的大きなステージで行われるヘアメイクの応用学習。						
8	【授業単元】定期テスト 【到達目標】血のり等を使用し、手早くリアルな傷を作る。					60	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			